

特記仕様（下記項目及び特記事項中●印を付けたものを本工事に適用）

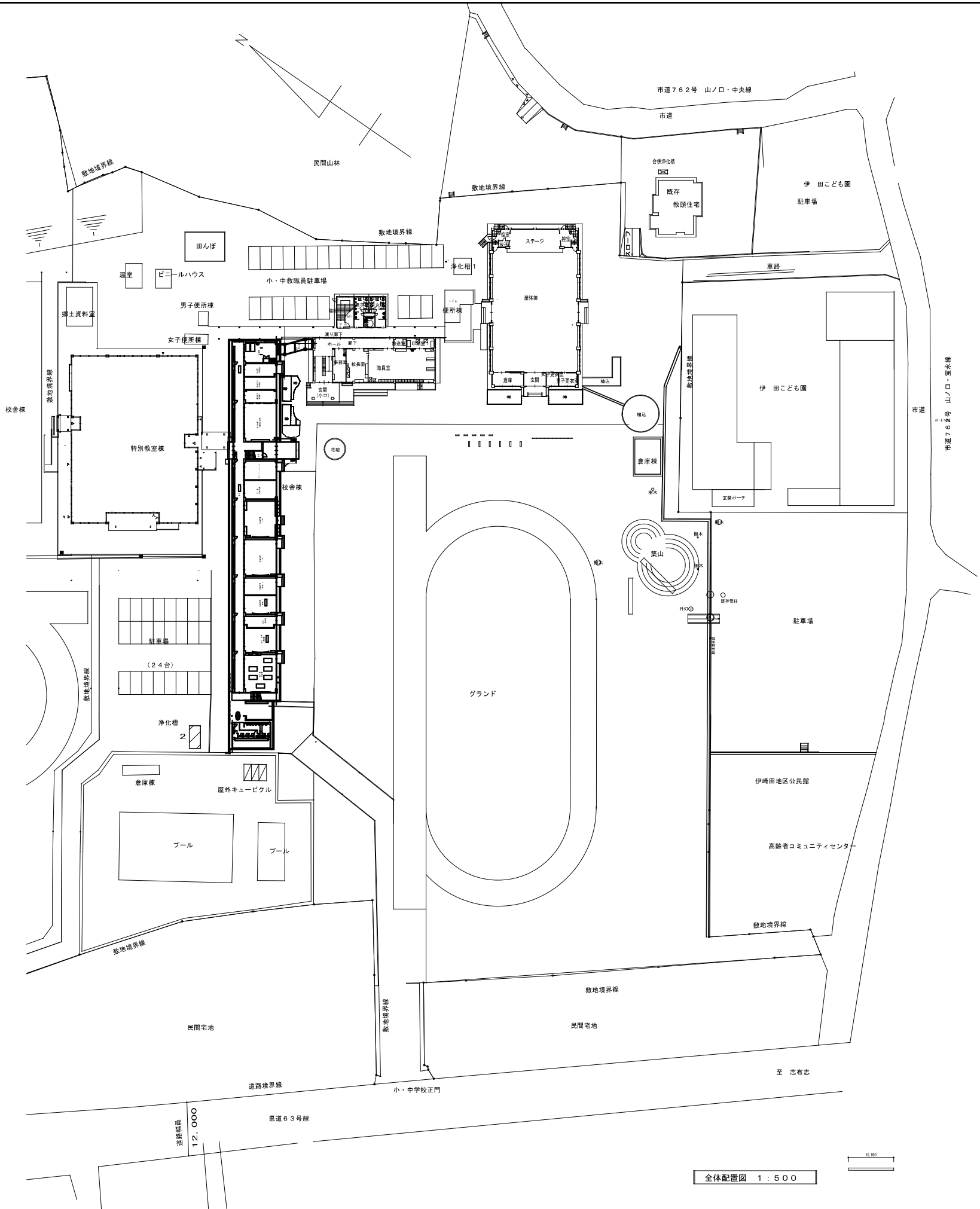
着工		 株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所 第1-3-153号
竣工			DRAWING TITLE	機械設備特記仕様書	鹿児島県知事登録
監理			DATE		一級建築士 211839号 中山 高士
施工			SCALE	A1:S=NO SCALE A3:S=NO SCALE	M - 00

着工		 株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所 第1-3-153号
竣工			DRAWING TITLE	機械設備特記仕様書	鹿児島県知事登録
監理			DATE		一級建築士 211839号 中山 高士
施工			SCALE	A1:S=NO SCALE A3:S=NO SCALE	M - 00

着工		 株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所 第1-3-153号
竣工			DRAWING TITLE	機械設備特記仕様書	鹿児島県知事登録 一級建築士 211839号 中山 高士
監理			DATE		
施工			SCALE	A1: S=NO SCALE A3: S=NO SCALE	M - 00

着工		 株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所 第1-3-153号
竣工			DRAWING TITLE	機械設備特記仕様書	鹿児島県知事登録
監理			DATE		一級建築士 211839号 中山 高士
施工			SCALE	A1:S=NO SCALE A3:S=NO SCALE	M - 00

特 記 事 項
本工事は既設改修工事のため、下記事項に十分配慮して作業を行うこと。
1. 本工事着手前に現地調査を十分行い、施工要領等を把握した上で施工計画書及び工程表を作成し、監督員及び関係者（学校）の担当者等の承諾を得た後に、工事に着手すること。
2. 工事に際しては、騒音及び断水等により公学校の運営等に支障をきたす事の無いように留意すると共に、事前に関係者（学校）等に連絡し、承諾を得ること。
3. 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し学校側にて移動してもらい、その後に作業に着手すること。
4. 工事期間中は安全作業に努めると共に、火気等にも十分注意して作業すること。
5. 工事期間中は粉塵等の発生にも充分留意し、特に天井作業等に於いては養生を確実にを行い作業すること。
6. 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合、事前に関係者（学校）に連絡し承諾を得た後、鍵を借用し、作業すること。
7. 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては監督員・学校管理者と打合せのこと。また、敷地内の車両走行については、施設関係者の安全を確保し、必ず徐行を行うこと。
8. コンクリート貫通の位置は監督員に確認の上、作業を行うこと。（防火区画貫通部は専用の部材又は、金属管にて保護する）
9. 工事に伴いハツリ等を行った場合、原則として原形復旧すること。 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、請負金額内にて原形復旧すること。
ハツリ・コア抜き・アンカー施工の際は、鉄筋探査を行い鉄筋および電気配管の切断がないようにすること。万一、破損した場合は監督員に報告した後に、速やかに原形復旧すること。
10. 空調室内機・配管等は支持部分と機器吊元部分が600mm以上の場合は振れ止めを取ること。
11. 室外機には各々適切な場所に室名、記号を記入した樹脂プレート（刻印）を取り付けること。また、室内機は必要に応じ表示すること。
12. 室外機の据付に用いる防振ゴムの厚さは15mmとする。また、室外機には全て転倒防止措置を施すこと。
13. 空調機の撤去に際しては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき適正に処理することとし、
フロン回収作業については知事登録を受けた事業者及び冷媒回収認定事業所にて行うこと。
14. 発生材の処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』及び『再生資源の利用の促進に関する法律』『建設リサイクル法』等の関係法規に基づき、適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
15. 機器類の撤去再取付は施工前及び施工後に機器の動作確認をおこない、正常に運転するかを確認すること。
16. 屋外露出の支持金物はステンレス製とする。ボルト、ナット類も全てステンレス（SUS-304）製とする。
17. ブルボックスの蓋には用途を表示すること。
18. 機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない理由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一部中止や工事延長について発注者と協議すること。
また、工事を全面的に一時中止している時期は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
19. その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡、協議を行うこと。
20. 官公署等への必要な提出書類は、請負業者にてすみやかに行う事。
21. 官公庁への手続き等及びそれに係る経費の支出は、請負業者にて行うこと。



着工		株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
竣工			DRAWING TITLE	配置図・特記事項	鹿児島県知事登録	
監理			SCALE	A1: S=1/500 A3: S=1/1000	一級建築士	211839号 中山 高士
施工						
		DATE	M - 01			

空調機器表（新設）

[illegible]

機 器 名	仕 様	台数	階	設置場所	
集中PC	液晶パネル式 遠方 ON/OFF 個別/一括運転停止、風量、温度設定	1	1	職員室	空調機の制御及び、リモコン登録・スケジュール設定が可能なものとする。

1. 空調機の選定機種については、省エネ法及び「グリーン購入法（トヨタ・リサイクル基準法）」の基準を引用するものとする。
2. 空調機の選定機種については、2015年省エネ基準値の基準を引用するものとする（高効率型）。尚、メーカー最上位機種とする。
3. 性能はJIS B 8612に準拠した値とする。
4. リモコン記録等に樹脂製の表示札を取り付け、種別・行き先等を表示すること。
5. 電源線については、メーカー仕様品とする。
6. 空調機室外機は、公共建築仕様とする。
7. 空調機選定選定後は、速やかに電気工事施工業者と打合せを行い、空調運転に支障のないようにすること。

凡例表

記 号	名 称	仕 様
	冷媒管	断熱材被覆銅管
	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排気管	スバイラルダクト
	空調機リモコン	高性能ワイヤード
	空調機集中リモコン	

保温仕様

	屋 内 隠 蔽	屋 内 露 出	屋 外 露 出
冷媒管	テープ巻 (1m毎) [※]	保温化粧ケース (PD)	保温化粧ケース (PD)
ドレン管	保温チューブ巻 (ライトカバー)	合成樹脂製カバー2	————

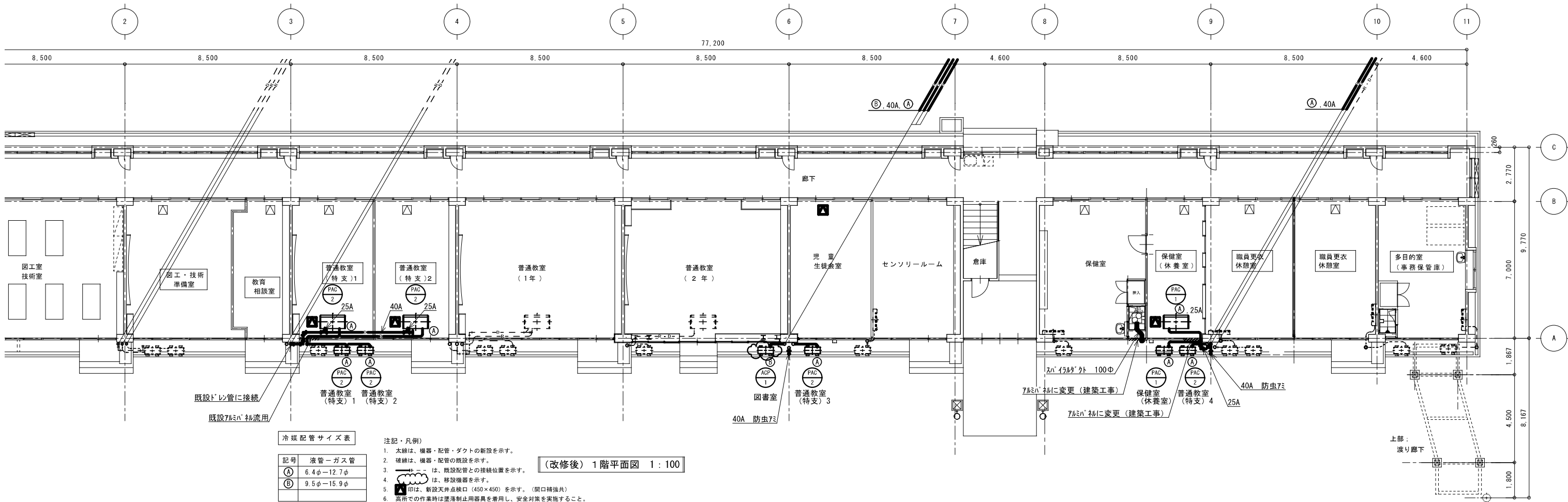
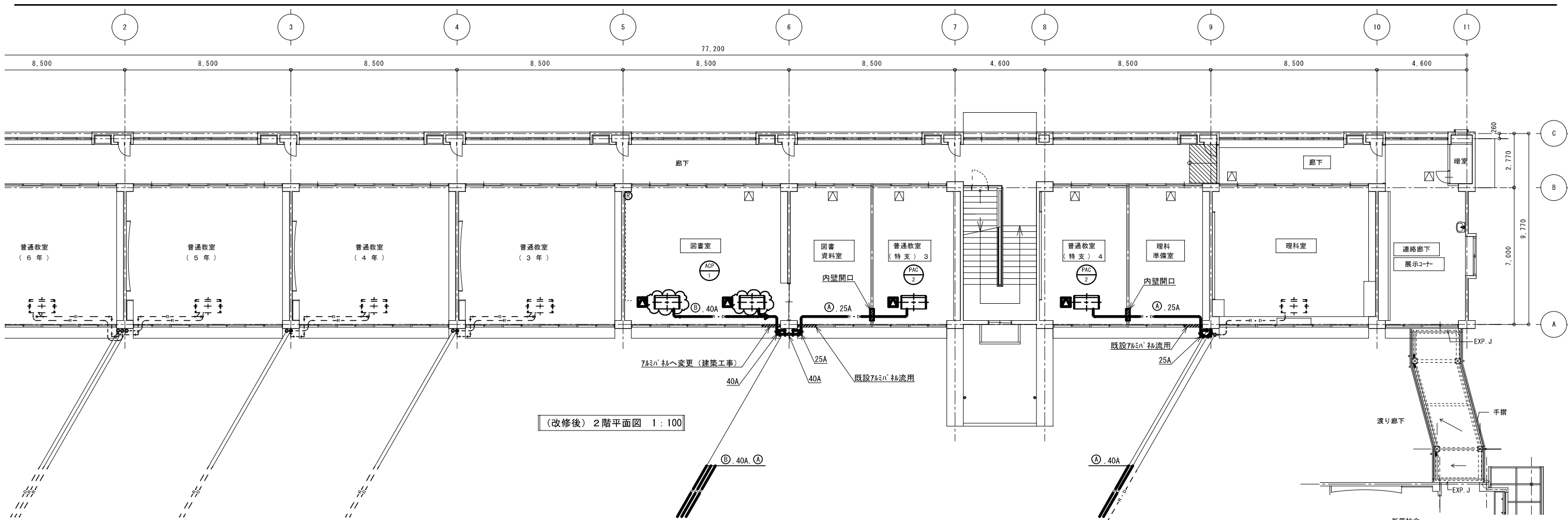
凡例表（計裝設備）

電線・ケーブル	電線管	施工区分
 (空調機リモコン)		
① EM-GEE2.0" -2C	(コログシ)	天井内
② EM-GEE2.0" -2C	(モール内)	屋内露出部
 (操作電源線)		
③ EM-GEE-S2.0" -2C	—— (冷媒管同時巻込み)	
④ EM-EFF2.0" -3C (1C:アース)	—— (冷媒管同時巻込み)	
 (集中制御線)		
① EM-GEE-S2.0" -2C	—— (コログシ)	天井内
② EM-GEE-S2.0" -2C	—— (冷媒管同時巻込み)	
③ EM-GEE-S2.0" -2C	—— (モール内)	屋内露出部
④ EM-GEE-S2.0" -2C	(E19) (金属短管貫通処理)	屋内露出部・壁貫通部
⑤ EM-GEE-S2.0" -2C	(E25) (金属短管貫通処理)	屋内露出部・壁貫通部
⑥ EM-GEE-S2.0" -2C	(ZnGP16)	屋外露出部
⑦ EM-GEE-S2.0" -2C	(ZnGP28)	屋外露出部
 (空調機集中リモコン)		
① EM-GEE-S3.5" -2C	(総合壁内)	
 (集中制御線)		
① EM-GEE-S3.5" -2C	(別途工事)	端子盤～総合壁(端子盤)

記 号	名 称	仕 様
	ブルボックス	250×250×200 金属製
	ブルボックス	250×250×200 SUS製、防水型
	2個用スイッチボックス	
	立上げ・立下げ部	MMB, MMC

- ・立上げ・立下げ部分はコーナーボックスを使用すること

着工		株式会社 衛藤中山設計	JOB TITLE	一級建築士事務所	第1-3-153号	
竣工			小中一貫校伊崎田学園改修工事	鹿児島県知事登録		
監理			DRAWING TITLE	一級建築士	211839号	中山 高士
施工			DATE			
			SCALE	A1: S-NO SCALE	A3: S-NO SCALE	M - 02



冷媒配管サイズ表

記号	液管・ガス管
①	6.4φ-12.7φ
②	9.5φ-15.9φ

- 注記・凡例)
- 太線は、機器・配管・ダクトの新設を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設を示す。
 - は、既設配管との接続位置を示す。
 - は、移設機器を示す。
 - 印は、新設天井点検口 (450×450) を示す。(開口補強共)
 - 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。

(改修後) 1階平面図 1:100

着工	
竣工	
監理	
施工	

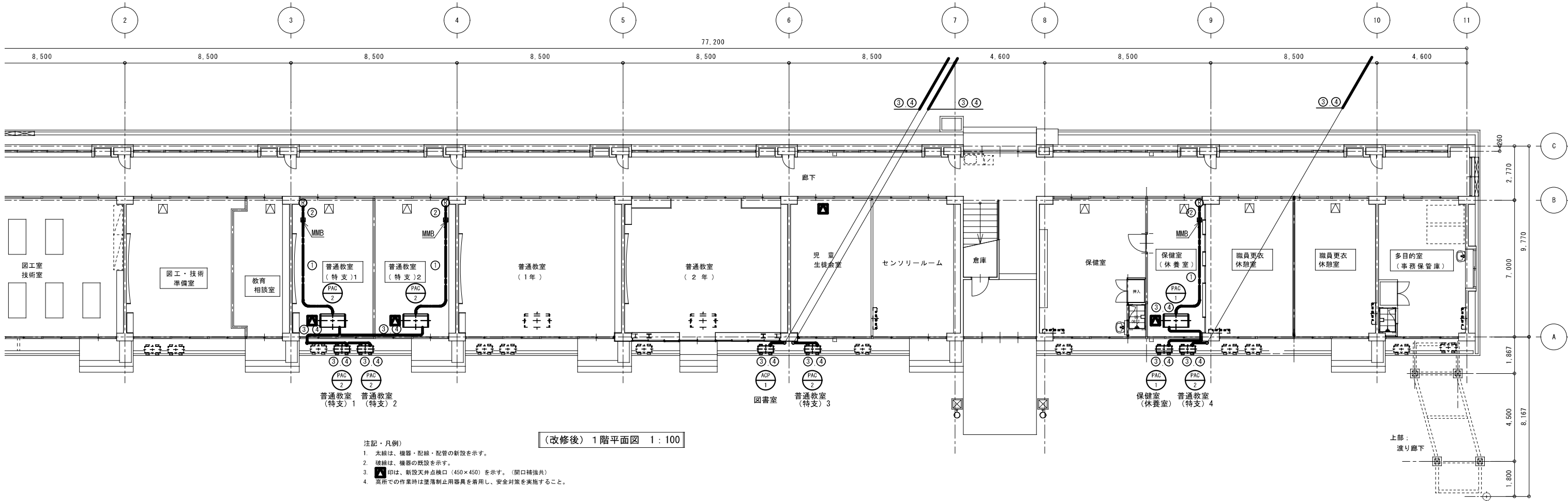
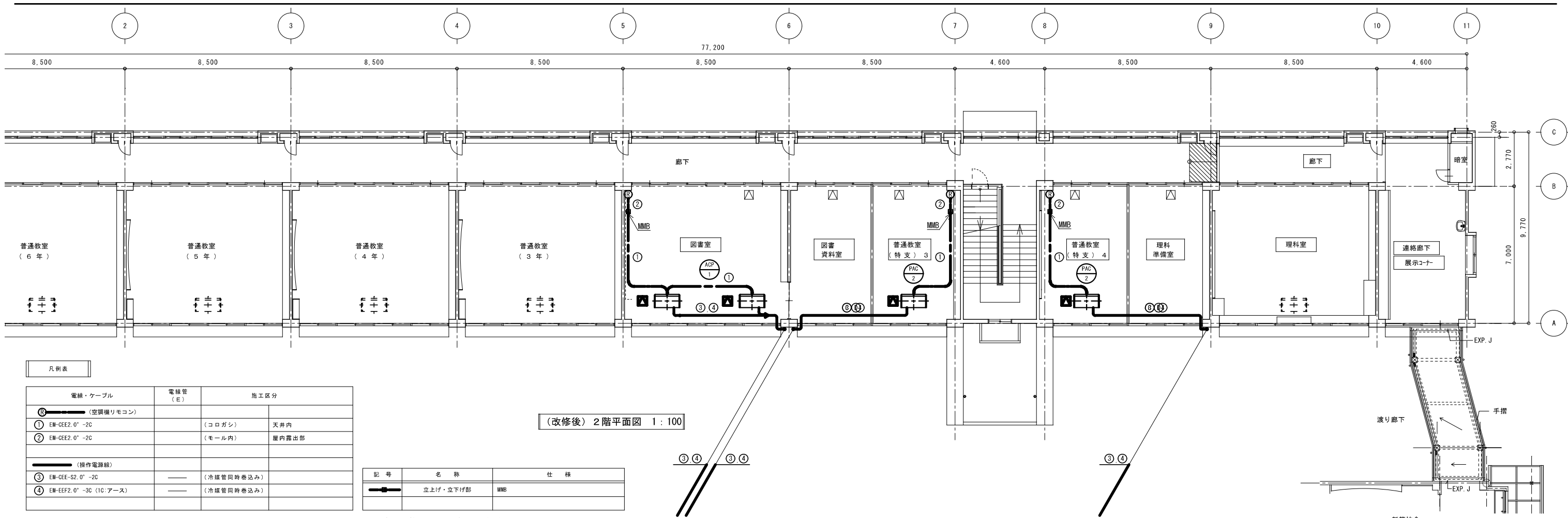
株式会社 衛藤中山設計

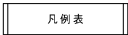
DATE

JOB TITLE
小中一貫校伊崎田学園改修工事
DRAWING TITLE
空調設備 1・2階平面図 (改修後)

SCALE
A1: S=1/100 A3: S=1/200

一級建築士事務所
鹿児島県知事登録
第1-3-153号
一級建築士 211839号 中山 高士



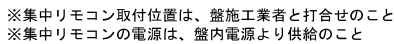


注記・凡例)

1. 太線は、機器・配線・配管の新設を示す。
2. 点線は、機器の既設を示す。
3. 印は、新設天井点検口（450×450）を示す。（開口補強共）
4. 高所での作業時は、安全対策を実施すること。

- ・立上げ・立下げ部分はコーナーボックスを使用すること

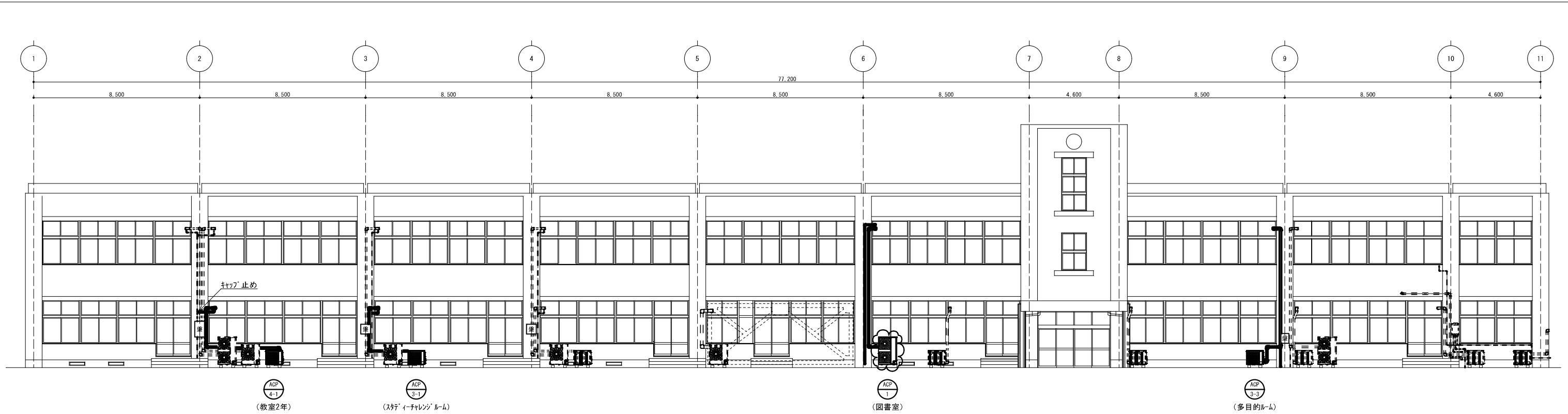
A部 詳細図 S=1/20



株式会社 衛藤中山設計

DATE _____

一級建築士事務所 第1-3-153号
鹿児島県知事登録
一級建築士 211839号 中山 高士



(改修前) 東側立面図 1 : 100

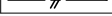
機器表（撤去）

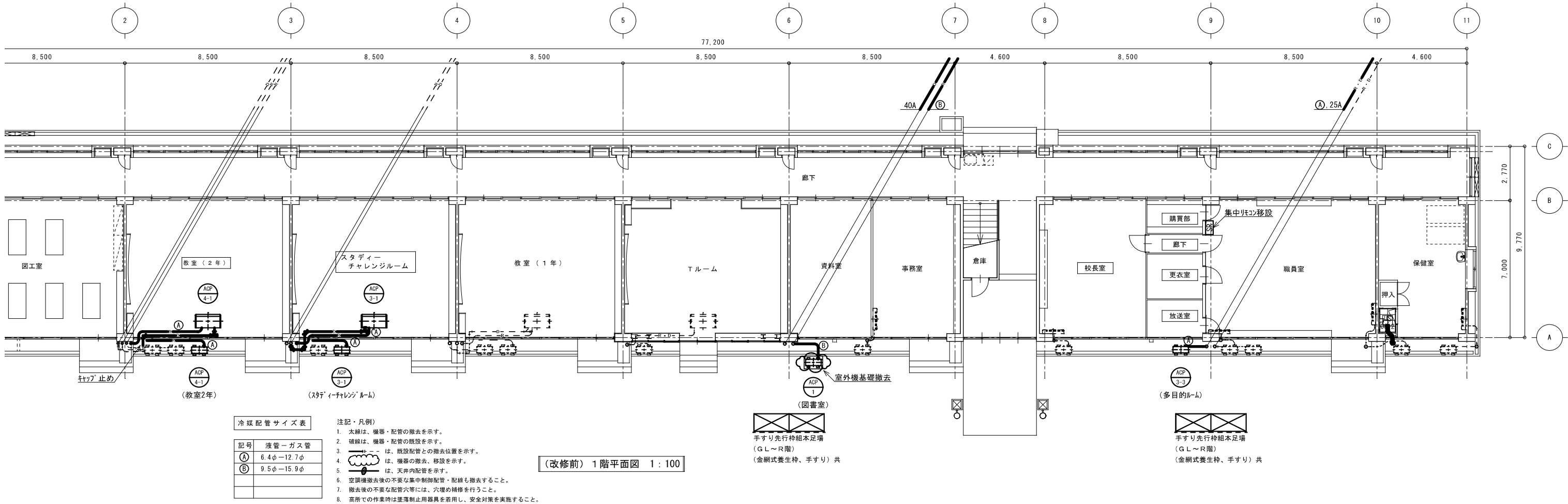
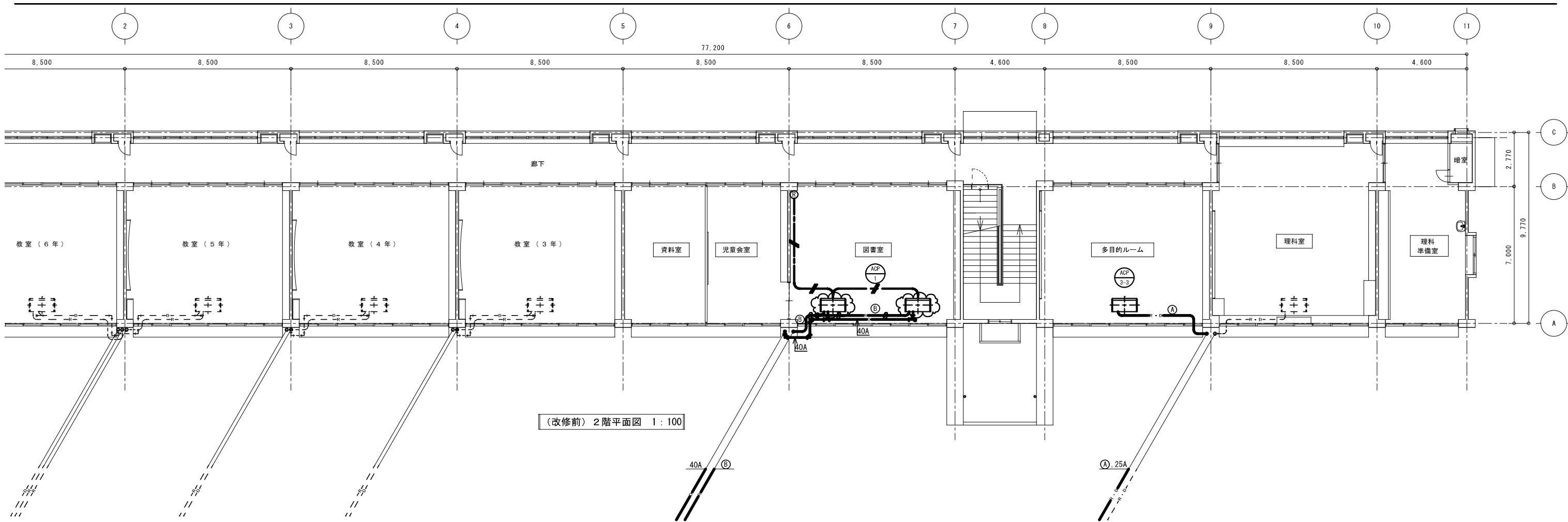
記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源		台数	対象教室	備 考
			相	√			
ACP 4=1	空冷ヒートポンプ装置	天吊形（シングルタイプ）	1	200	1	教室（2年）	室外機重量：42kg
		冷房能力：4.5kw					室内機重量：25kg
		暖房能力：5.0kw					
ACP 8=1	空冷ヒートポンプ装置	天吊形（シングルタイプ）	1	200	1	ｽｽﾞｷﾞｰﾁｬﾚﾝｼﾞﾙｰﾑ	室外機重量：42kg
		冷房能力：5.6kw					室内機重量：32kg
		暖房能力：6.3kw					
ACP 8=3	空冷ヒートポンプ装置	天吊形（シングルタイプ）	1	200	1	多目的ﾎｰﾙ	室外機重量：42kg
		冷房能力：5.6kw					室内機重量：32kg
		暖房能力：6.3kw					

機器表（撤去後移設）

記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源		台数	対象教室	備 考
			相	√			
ACP 1	空冷ヒートポンプ装置	天吊形（クイ同時タイプ）	3	200	1	図書室	室外機重量：94kg
		冷房能力：14.0kw					室内機重量：32kg×2台
		暖房能力：16.0kw					
R	空調機リモコン				1	図書室	
SR	空調機集中リモコン				1	職員室	

凡例表（撤去）

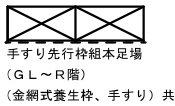
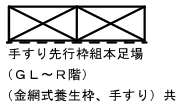
記 号	名 称	仕 様
	冷媒管	断熱材被覆銅管
	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
	空調機リモコン	高性能ワイヤード
	空調機集中リモコン	
	リモコン線	EM-AE1. 2-2C



冷暖配管サイズ表	
記号	液管・ガス管
(A)	6.4φ-12.7φ
(B)	9.5φ-15.9φ

- 注記・凡例)
- 太線は、機器・配管の撤去を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設を示す。
 - は、既設配管との撤去位置を示す。
 - は、機器の撤去、移設を示す。
 - は、天井内配管を示す。
 - 空調機撤去後の不要な集中制御配管・配線も撤去すること。
 - 撤去後の不要な配管穴等には、穴埋め補修を行うこと。
 - 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。

(改修前) 1階平面図 1:100



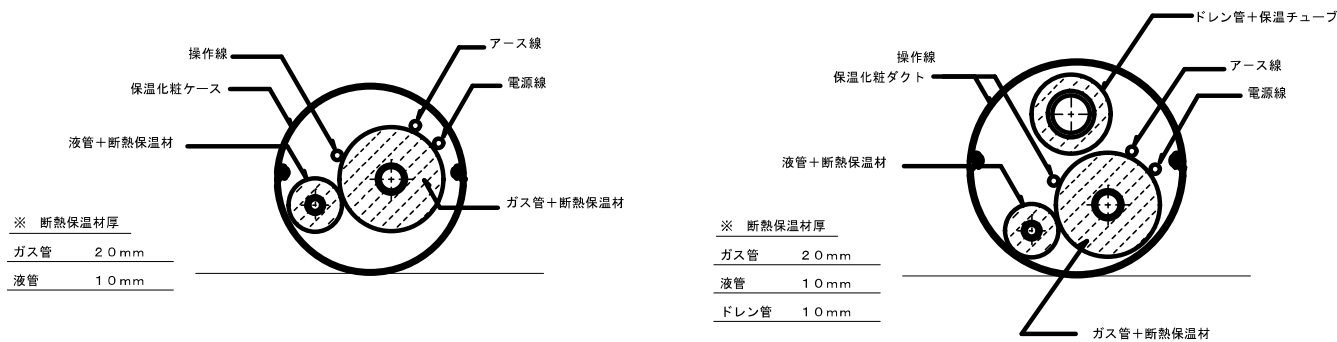
着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

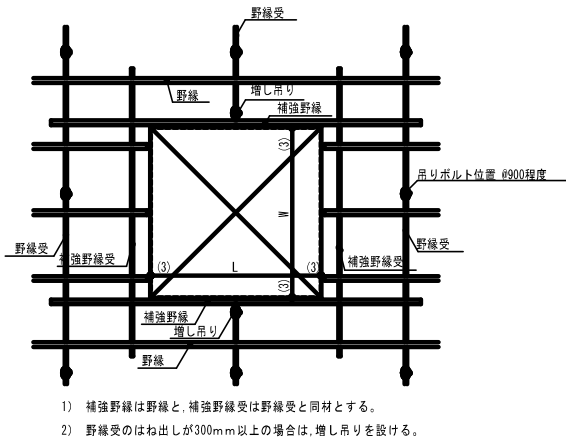
DATE

JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	空調設備 1・2階平面図 (改修前)	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1:S=1/100 A3:S=1/200	一級建築士	211839号 中山 高士
		M	- 08

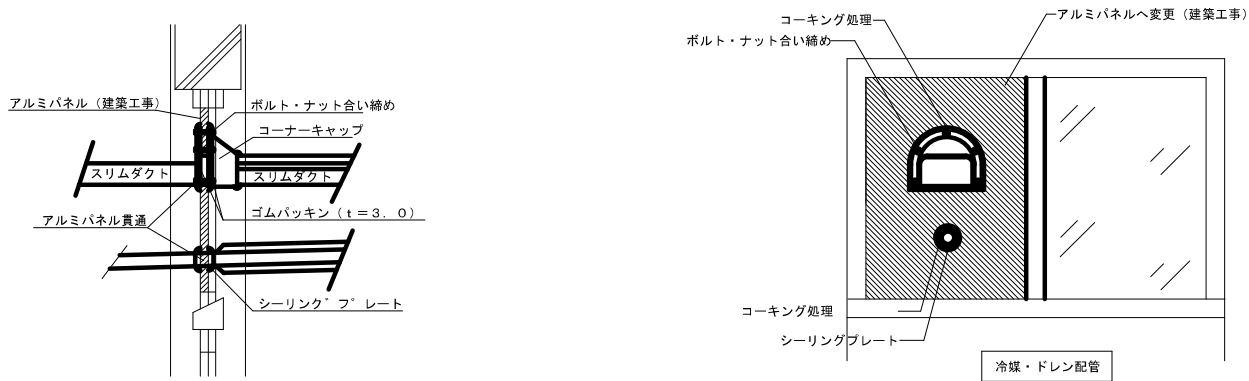
冷媒配管（保温化粧ケース）参考詳細図 NO SCALE



点検口開口補強参考図 NO SCALE

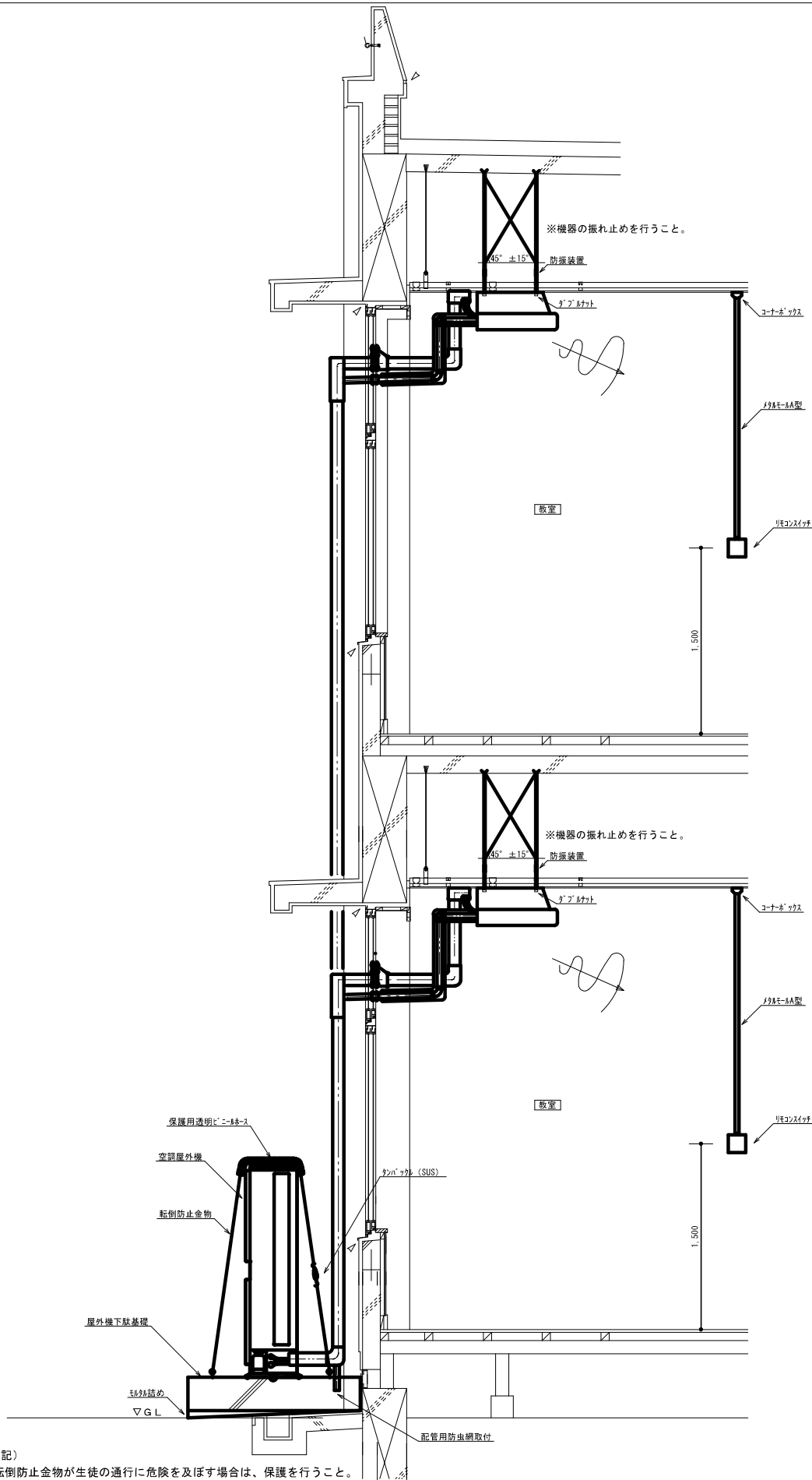


アルミパネル施工要領図 NO SCALE



- ※ アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
- ※ アルミパネルの開口は最小寸法とする。
- ※ アルミパネルの寸法は取り付ける意を確認し決定のこと。

屋内外配管施工要領図（参考） NO SCALE



- 注記）
- ・転倒防止金物が生徒の通行に危険を及ぼす場合は、保護を行うこと。

着工	
竣工	
監理	
施工	

DATE



株式会社 衛藤中山設計

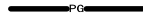
JOB TITLE
小中一貫校伊崎田学園改修工事
DRAWING TITLE
空調設備 施工要領参考図
SCALE
A1: S=NO SCALE A3: S=NO SCALE

一級建築士事務所 第1-3-153号
鹿児島県知事登録
一級建築士 211839号 中山 高士

特記事項

- 1) 本工事着手前に現地調査を十分に行い、使用中の既設建物の一部を施工することを配慮し、学校の運営に支障をきたさぬように
施工計画書・工程表を作成し、監督員の承諾を得た後、安全に注意し施工すること。
- 2) 外部の配管施工は仮設通路、足場設置前に行うこと。（但し事前に建築施工業者と協議を行うこと。）
- 3) 本工事において、監督員及び学校関係者と十分協議し、承諾を得た後作業すること。
また、断水や騒音等により学校の運用に支障をきたすことのないように留意すること。
- 4) 部分的に使用しながらの工事であり、建物使用者の危害防止等には十分な安全・防災対策を立て学校関係者とも協議すること。
また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らないように徹底させること。
- 5) 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、学校関係者と協議すること。
- 6) 工事期間中は安全作業に努めると共に火気にも十分注意して作業すること。
- 7) 本工事期間中は粉塵等の発生にも十分留意し、特に天井作業等においては養生を確実にを行い作業すること。
- 8) 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合、事前に学校関係者に連絡し承諾を得て作業すること。
- 9) 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては監督員・学校関係者と打ち合せのこと。
また、敷地内の車両走行については、建物使用者の安全を確保し、必ず徐行を行うこと。
- 10) はつり工事のときは、既設の打込配管等に十分注意して施工すること。はつり等を行った場合、原則として原形復旧すること。
- 11) 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、監督員と協議し原形復旧すること。
- 12) 発生材の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」等関係法規に
基づき、適正に処分するとともに、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
- 13) 既設建物の鉄筋コンクリート壁を貫通する場合は、必要最小径のダイヤモンドカッター孔穿を行うこと。
- 14) その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡、協議を行うこと。
- 15) 配管切替等の作業後は、各棟のエア抜き・水入替をし、学校の運用に支障をきたすことのないように留意すること。
- 16) 屋外埋設管については、既設配管の分岐を確認し、不明配管が発生した場合は監督員に連絡し、協議を行うこと。

凡例表

記 号	名 称	使 用 管 材	
	給水管	屋外埋設	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（H I V P）
		面台内	水道用内面硬質塩化ビニルライニング鋼管（S G P－V B）
		屋内一般・屋外露出	水道用内面硬質塩化ビニルライニング鋼管（S G P－V B）
	排水管	屋外埋設	硬質ポリ塩化ビニル管（V U）
		屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管（V P）
		屋外露出	配管用炭素鋼鋼管（白）
	ガス管	屋外埋設	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(黒)（S G P－V S）
		屋外露出	配管用炭素鋼鋼管（白）
	給湯管	屋内一般	被覆ステンレス鋼管（プレス式）
		露出部	被覆ステンレス鋼管（プレス式）
	地中埋設標	土部	コンクリート製

※ プレス式綱手施工の際は、綱手メーカーの施工マニュアルに記載の施工要領・工具・手順を遵守すること。
なお、施工は綱手メーカーによる技能講習を受けたものが行うこと。

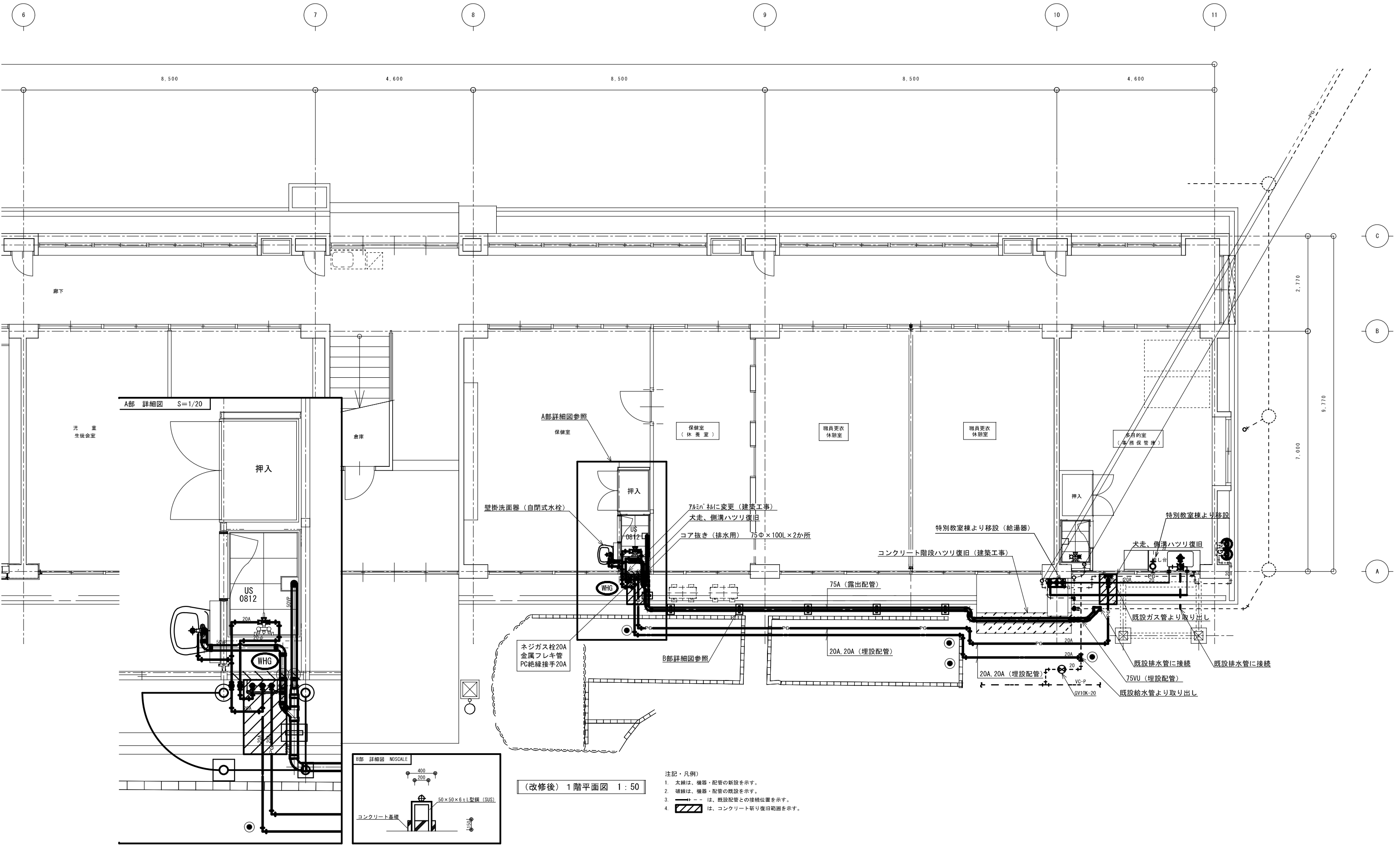
保温・塗装区分表

施工箇所	給水	排水	通気	消火	給湯	ガス	保温・塗装・防食仕様
屋外埋設	C	C	－	C	－	C	A 保温（外装 ステンレスラッキング） B 保温（外装 アルミガラスクロス） C 裸管のまま D 耐熱保温チューブ巻き E 保温チューブ巻き F 塗装 （調合ペイント2回塗り）
屋内土間	C	C	C	C	－	C	
面台内・壁内	E	C	C	－	C	－	
天井内	B	－	C	－	C	－	
屋内露出	－	－	C	－	B	－	
屋外露出	A	－	C	－	A	C	
給湯器部	A	－	－	－	D	C	

衛生器具表（新設）

品 名	室 名		保健室 （休養室）	合 計	備 考
	T O T O	L I X I L			
壁掛洗面器（自閉式水栓）	L250CM, TL19AR, その他付属品	L-176UAN, LF-P02B, その他付属品	1	1	

記号	名称	仕様	数量	備考
	ガス給湯器 （屋外壁掛型）	BL認定品 給湯能力16号 過熱防止装置、立消え安全装置、不完全燃焼防止装置 逆止弁付ボール止水栓（20×20）、中間ガス栓（15A） 接続フレキシブル管）、強化ガラス	1	保健室（休養室）



(改修後) 1階平面図 1:50

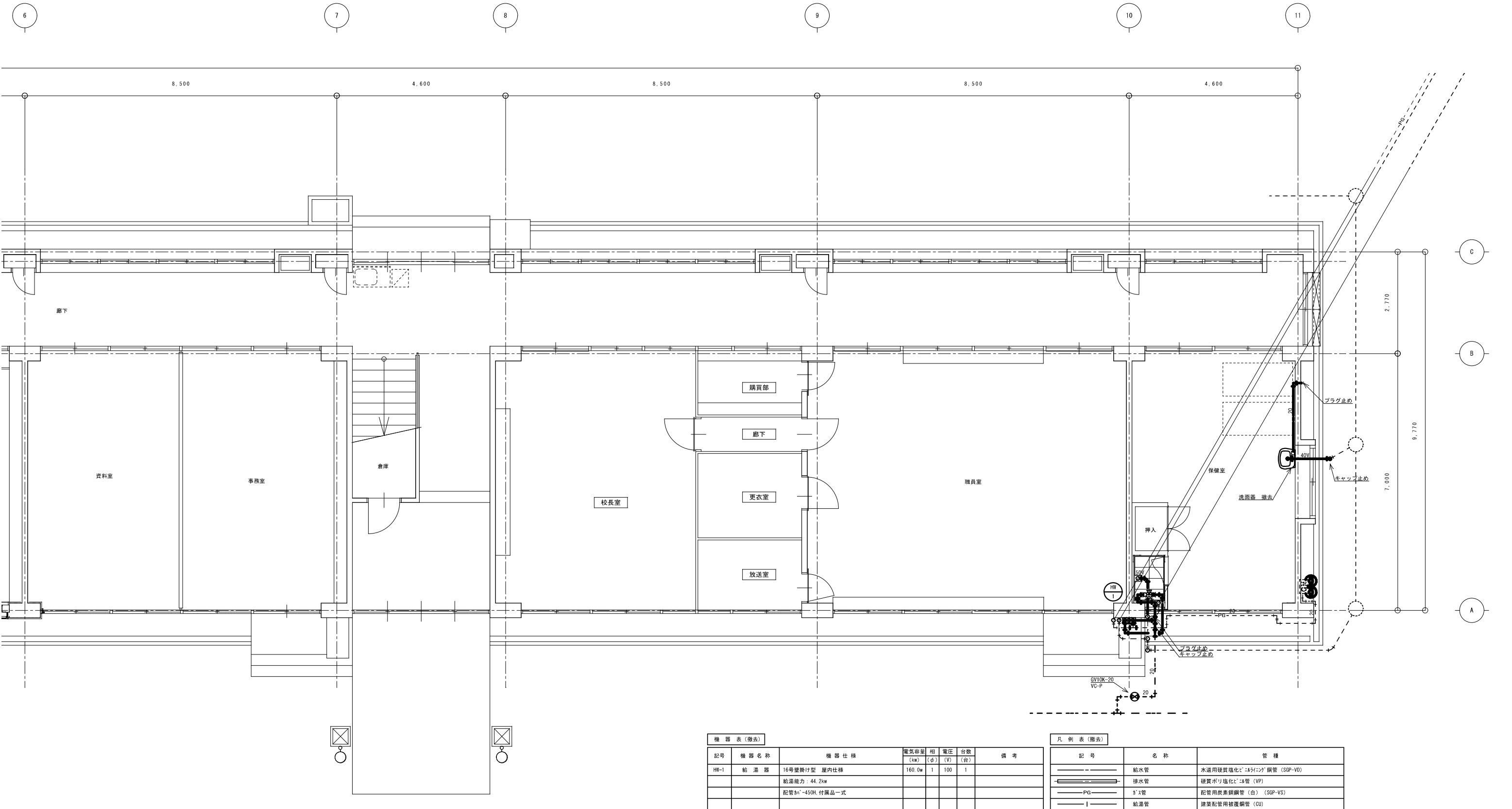
- 注記・凡例)
1. 太線は、機器・配管の新設を示す。
 2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
 3. - - - は、既設配管との接続位置を示す。
 4. は、コンクリート張り復旧範囲を示す。

着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

DATE

JOB TITLE	小中一貫校伊崎田学園改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	衛生設備 1階平面図 (改修後)	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1: S=1/50 A3: S=1/100	一級建築士	211839号 中山 高士
		M	- 11



(改修前) 1階平面図 1 : 50

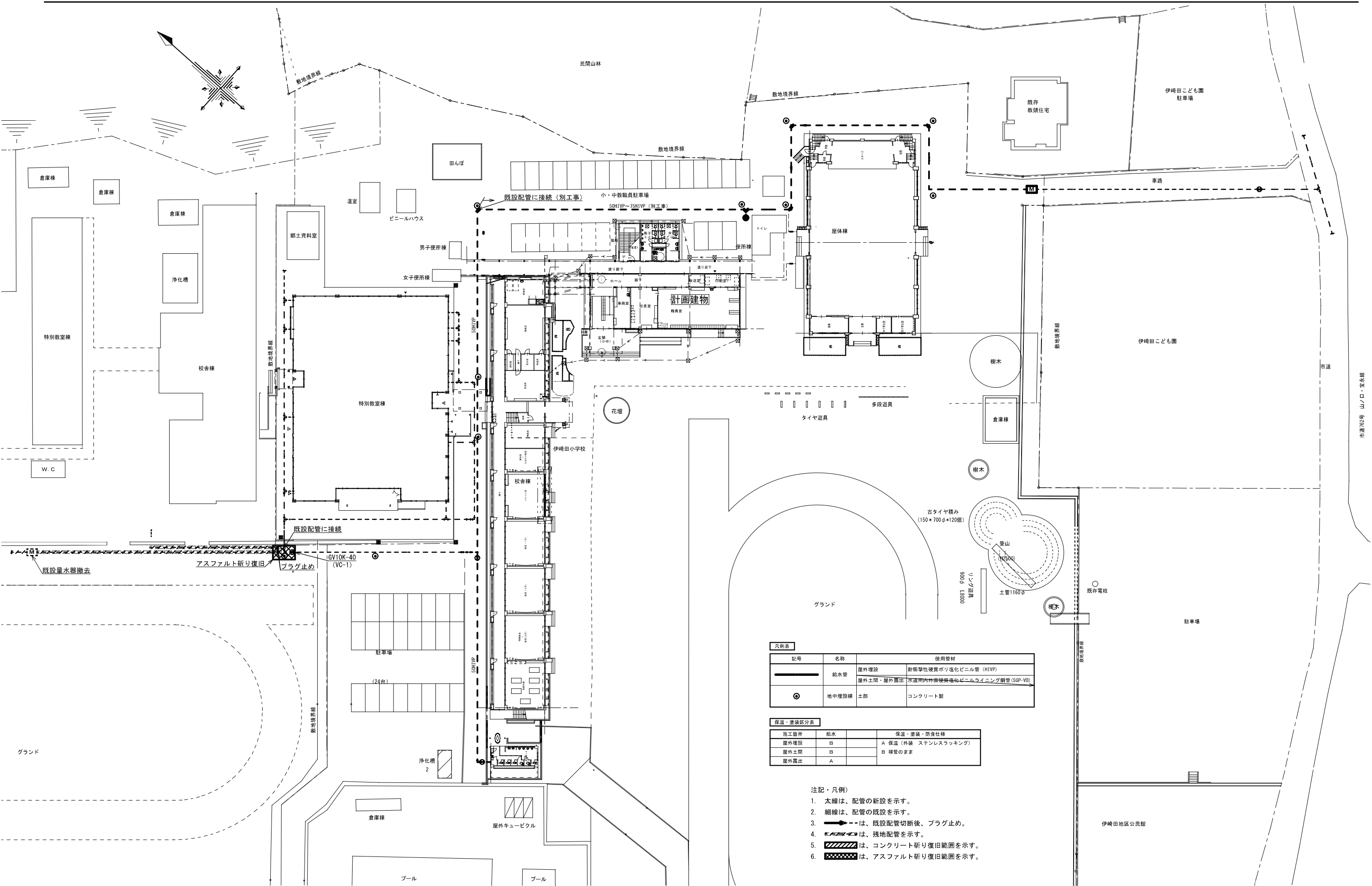
機 器 表 (撤去)

記号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電気容量		相	電 圧		台数	備 考
			(kW)	(φ)		(V)	(台)		
HW-1	給 湯 器	16号壁掛け型 屋内仕様	160.0w	1		100	1		
		給湯能力 : 44.2kW							
		配管がφ450H,付属品一式							

凡 例 表 (撤去)

記 号	名 称	管 種
---	給水管	水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VD)
---	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
PG---	ガス管	配管用黒素鋼管 (白) (SGP-VS)
I---	給湯管	建築配管用被覆銅管 (CU)

- 注記・凡例)
- 太線は、機器・配管の撤去を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設を示す。
 - は、既設配管との撤去位置を示す。
 - 撤去後の不要な配管穴等には、穴埋め補修を行うこと。



凡例表

記号	名称	使用管材
—	給水管	屋外埋設 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)
		屋外土間・屋外露出 水道市内外両用強化ポリラミネング鋼管 (SGP-VD)
⊙	地中埋設構	土部 コンクリート製

保温・塗装区分表

施工箇所	給水	保温・塗装・防食仕様
屋外埋設	B	A 保温 (外装 ステンレスラッキング)
屋外土間	B	B 裸管のまま
屋外露出	A	

注記・凡例)

- 太線は、配管の新設を示す。
- 細線は、配管の既設を示す。
- は、既設配管切断後、プラグ止め。
- は、残地配管を示す。
- は、コンクリート研り復旧範囲を示す。
- は、アスファルト研り復旧範囲を示す。

着工	
竣工	
監理	
施工	

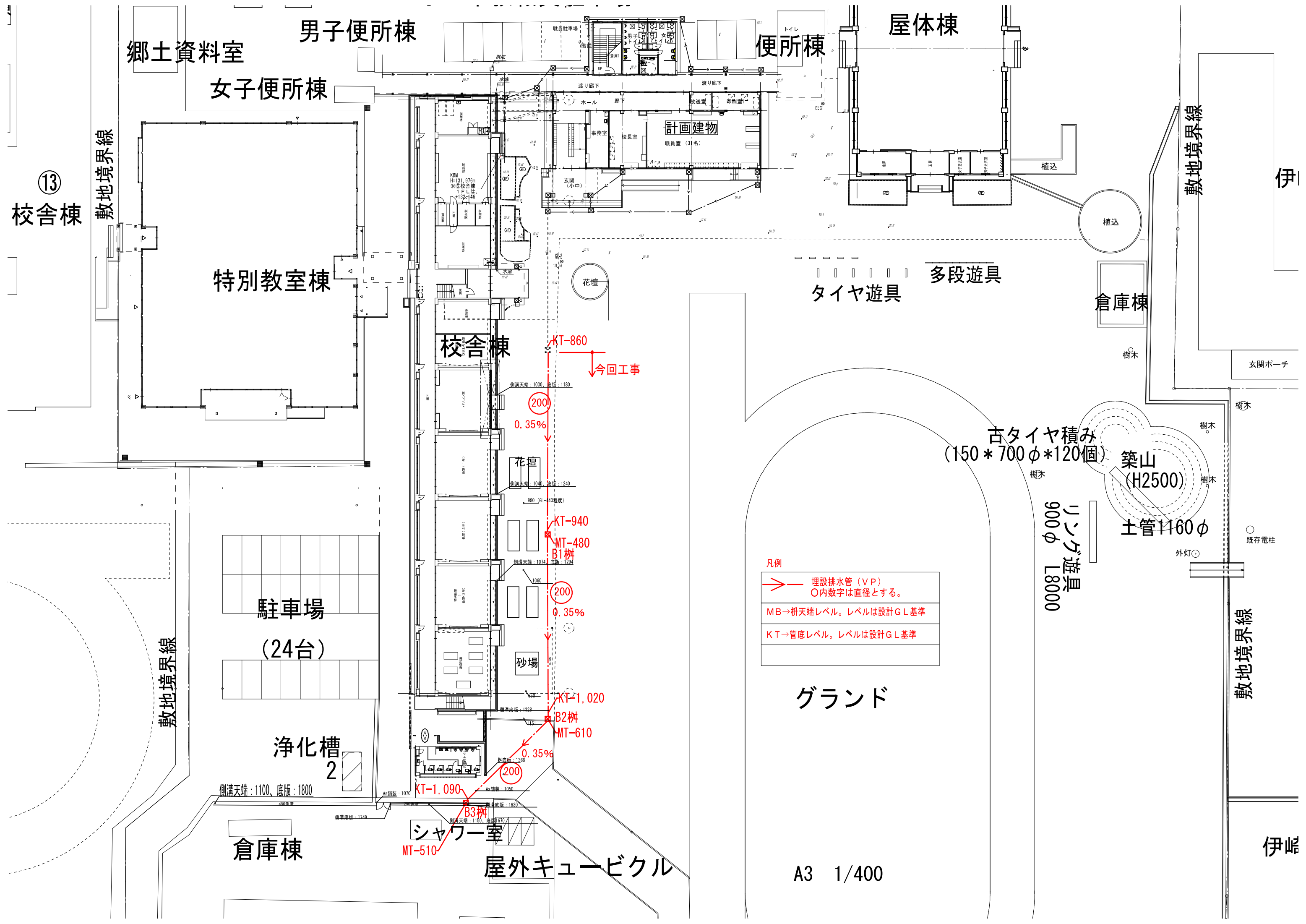
株式会社 衛藤中山設計

DATE

JOB TITLE
小中一貫校伊崎田学園改修工事
DRAWING TITLE
屋外配管図・凡例表

SCALE
A1: S=1/300 A3: S=1/600

一級建築士事務所 第1-3-153号
鹿児島県知事登録
一級建築士 211839号 中山 高士



⑬
校舎棟

郷土資料室
男子便所棟
女子便所棟

特別教室棟

校舎棟

便所棟
屋体棟

計画建物

倉庫棟

駐車場
(24台)

浄化槽
2

倉庫棟

シャワー室

屋外キュービクル

多段遊具
タイヤ遊具

古タイヤ積み
(150 * 700 φ * 120個)

築山
(H2500)

土管1160φ

凡例	
	埋設排水管 (V P) ○内数字は直径とする。
M B → 枡天端レベル。レベルは設計G L基準	
K T → 管底レベル。レベルは設計G L基準	

グラウンド

A3 1/400

伊

伊

敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

特記

1. 鉄筋をタテヨコ共D10@200（端部はD13）で入れる事。
2. 柵ふた（受け枠共） ※特記なき限りT-2
A型柵→ダイクレR1SD25-44同等品以上（T-2）

B 型桁 W=400

品番	H
B1	560
B2	510
B3	680

